



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCAs THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2011~2012)

・ 国際協会会長 Finn A. Pedersen (ノルウェイ)  
『Audere est Facere - To dare is to do』  
「とにかくやろうー成せば成る」

・ アジア地域会長 Wichiane Boonmapajorn (タイ)  
『Audere est Facere - To dare is to do』  
「とにかくやろうー成せば成る」  
スローガン 『Mission with Faith』  
「信念をもって使命を果たそう」

・ 西日本区理事 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)  
『ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献』  
「Contribute to Community through Active Services with Love」  
副 題 『理想を目指して変革と行動!』  
「Change Ourselves and Take Actions Our Lofty Goal」

・ 六甲部部长 森 紘一 (神戸学園都市クラブ) 『伝統を守り、若返りを図ろう!』  
副 題 「もっと楽しく、もっと活発に!」

・ 西宮クラブ会長 瀧崎 進一 『皆で知恵を出し合い、行動して行こう!』  
「Let's create wisdom each other, and let's take act up to all member's Y'sdom!」

・ 2011年8月 西日本区強調ポイント "Youth Activities"  
「ユースと共にワイズの世界を広げましょう!」 藤川 洋 Yサ・ユース事業事業主任(広島クラブ)

2011年8月  
760号  
65期-02号  
since 1948.5.17

・スポンサークラブ  
大阪クラブ  
・DBC 締結  
近江八幡クラブ  
広島クラブ

## クラブ主役員

会 長 瀧崎 進一  
次期 会長 長井 慎吾  
直前 会長 馬場 一郎  
副 会長 山本 常雄  
書 記 浅野 純一  
書 記 阪根 新  
会 計 岩田 健司  
会 計 足立 康幸  
監 事 清水 彬久  
担当主事 三島 浩司  
部交流主査馬場 一郎  
区交流主任廣瀬 一雄

## 2011年8月第一例会のご案内

日時: 2011年8月19日(金) 18時30分~

場所: 宝塚ホテル(阪急今津線「宝塚南口」駅下車)

ドライバー: 堤 一幸メン、山口吉郎メン

例会・懇親会司会: 安行英文メン(さんだクラブ)

### 第I部 合同例会(ホテル内、東館2階「菊の間」)

1. 開会点鐘 各クラブ会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト・ビジター紹介 各クラブ会長
5. ゲストスピーチ 水野総主事
6. お誕生日のお祝い
7. Y'sニュース・お知らせ 各クラブ会長
8. YMCA 報告 主事
9. 閉会点鐘 各クラブ会長

### 第II部 合同納涼懇親会(屋上ビアガーデン)

※各クラブよりの出し物は準備中、お楽しみ

会費: 4,000円、登録受付開始は18:00~

※ご家族、ご友人をお誘い下さい。

ファンド・BFの累計	7月	累計
ニコニコファンド	3000p	3000p
Brotherhood Fund(BF)	5700p	5700p
使用済切手	0g	0g
東日本大震災支援ファンド	3600p	10,800p

## 今月の聖句

『塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたは何によって塩に味をつけるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、平和に過ごしなさい。』

マルコによる福音書9章50節

よしひさ  
清水彬久メン 選

7月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(7.15金) 第2例会(7.1金)

メン 18名 メン 15名

メネット・コメント 2名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 3名 ゲスト・ビジター 0名

合計 23名 make-up 3名 合計 15名

出席率 95.5% (累計出席率 95.5%)

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

8月6日 清水 彬久メン

8月19日 馬場 一郎メン

〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 第3金曜日19時~  
TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南  
西宮クラブホームページURL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>  
西日本区ホームページURL: <http://www.ys-west.or.jp>

## 今月のダイジェスト

### A. 8月号プリテン

1. 会長メッセージ 濱崎進一 会長……………1
2. 第一例会報告 岡田メン、清水メン……………2
3. 交流事業主任だより 広瀬交流事業主任……………2
4. 六甲部第1回評議会開催 浅野純一メン……………3
5. 各部会のご案内……………3
6. 各種報告
  - EMC通信 山口政紀 EMC 委員長……………4
  - Y's ニュース 濱崎進一 会長……………4
  - YMCA 報告 三島浩司 主事……………5
  - 会計からのお願い 会計 岩田・足立……………5
7. 今後の予定……………6
8. 編集後記……………6
9. 西日本区理事通信(8月号) 浅岡徹夫 理事……………11

### B. 8月号プリテン別冊(寄稿集コーナー)

1. 神戸YMCA 125年を振り返って(その14)  
長井慎吾 125周年記念事業実行委員長……………7
2. 「音を重ねる日々は心を重ねる日々に」47  
楽団“あぶあぶあ”&ミュージカルチーム  
“LOVE”代表 ひがしのようこさん……………8
3. 西宮YMCA 保育園だより 三島浩司 園長……………8
4. 西宮・宝塚リーダー会だより 山田悠太 リーダー……………9
5. 触れっしゅめん・触れっしゅういめん 登場-1……………9
6. 鱧の集い今年もお疲れ様 山本常雄……………10
7. 水の流れのままに45(俳句) 小野勅紘メン……………10

# 2011-2012年度キックオフ

## 会長メッセージ



濱崎進一 会長

今期も2か月目に入りました。今回は先月掲げた活動方針の内「第2項目・YMCA サポートあり方を再考しよう」についてお話してみたいと思います。

### ・西宮YMCAとの打合せ会

6月に馬場前会長と数名のクラブメンバーが山根館長、野村担当主事、プログラム担当先生との検討打ち合わせ会を持ちました。検討会では、今年度からYMCAと共に考えていきたいと思っています。野村担当主事との打ち合わせ時のレポートの内容の抜粋を以下に掲載します。

#### 1. 【プログラム(現状と課題)について】

サインポストコース(週1回、学習クラス)、マンスリーコース(月1回社会性指導クラス)があります。会員のニーズがマンスリーコースへと偏ってきており、指導体制などを見直す時期に来ている。長期休みには、キャンプ(夏、冬休み各2回)、日帰りプログラム(女の子、男の子プログラム、鉄道クラブ、サマースクール等)など多くのプログラムがあります。プログラムが多彩、飽和状態になって来てお

り、精査する必要がある。

今年度新規取組として、「就業体験プログラム」、「就農体験プログラム」を実施。サポートプログラム卒業後に向けた支援体制の取組が必要。

OB会を継続して行こなっています(事務窓口として纏めているのみ)が、YMCAとしてプログラムの展開をしていない。メンバーが固定化、高齢化してきておりOB会の独立がテーマです。

その他の予定、取り組みとして以下の項目がある。

- (1) コープ神戸に協力して、夏休みのデイキャンプを行う。
- (2) 竹田契一先生と共にスーパーバイザーを担って頂ける先生を探している。ご紹介下さい。
- (3) ボランティアが特に不足しており、大学などと連携して学生を募れるようにしていく。学生に声を掛けていきたい。

馬場直前会長より「年2回のサポートプログラムを考えている」との意見に対し、YMCAとしては、「さまざまな年代の方々と接することはメンバーにとっても実りあることだと考えている。ただし、今年度のプログラムは既にスタートしており、メンバーを対象に新しいプログラムを行うことは難しいが、保護者のフォローが出来るプログラムが出来ればと考えており、保護者のニーズを把握をした上で、何らかのプログラムにご協

力をお願いしたい。一度保護者会意見を諮ってみます。」とのこと。

．【今年度の取り組みについて】

1. 今年度のYMCAのプログラムサポートは、取り敢えず保護者会の意見を考慮して進めることとし、サポートプログラムはクリスマス会か新年会とする。2011年度サポートプログラムは1回としたい。
2. YMCAの2012年度のプログラムサポートについては、2012年度YMCAがプログラム作成時、または検討時にワイズのサポート内容、回数を山根館長、野村担当主事及び関係者が参加して協議の上決定して行きたいと考えている。

以上のような検討結果でしたが、皆様からも意見を頂ければ幸いです。当方までご意見をお寄せ下さい。

## 例会報告(7月)

ドライバー 岡田 佑一郎メン  
清水 彬久メン

日時: 2011年7月15日(金) 19時～

会場: 西宮YMCA保育園3階ホール

出席: 浅野、足立、岩田、岡田、阪根、清水、堤、長井、瀧、濱崎、馬場(一)、藤原、廣瀬、万本、三島、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン、ウイメン。出席会員18名。欠席4名(内石井、小野の各メン・ウイメンは第二例会に、丸山メン会長・主査慰労会に、計3名メイクアップ) メネットさんは宮地、山口(洋)の各メネット。ピジターは森六甲部長(神戸学園都市)、福田EMC主査(宝塚)、進藤ファンド主査(神戸) 出席合計23名。

7月例会は部長公式訪問日で、森六甲部長(神戸学園都市クラブ)、福田EMC主査(宝塚クラブ)、進藤ファンド主査(神戸クラブ)をお迎えし、馬場直前会長の点鐘の後、直前会長より濱崎新会長への引継ぎ式が六甲部役員の方々のご祝福を頂きながら厳かに行われました(写真)。

森部長より、EMC活動に力を入れ、特に若いメンバーの獲得に努力して欲しいとの要請がありました。3年間で60名(各クラブ平均3年間で7名)の増加で六甲部200名を目指すとともに、年々上昇していく各クラブの平均年齢



馬場一郎直前会長から濱崎新会長へ引継ぎされた



今期の西日本区交流事業主任の認証状を受ける廣瀬メンを下げる狙いもあるようです(西宮クラブは他クラブより若く61才)。また、六甲部に新クラブの創設を検討すべく委員会を立上げ検討することの報告もいただきました。合わせて進藤ファンド主査より将来のワイズメンバー育成の基金の大切さと基金への協力を、福田EMC主査からは重ねて会員増強のアピールをお伺いしました。



アピールする森六甲部長、福田EMC主査、進藤ファンド主査新会長の活動計画と方針、会計報告と藤原監事の監査報告の後、6月18日～22日の岩手・宮古東日本震災地域訪問の報告をビデオを見ながら濱崎・馬場・山本メンより詳細に報告いただきました。(尚、詳細は別紙報告書に詳しく記載されていますので参照願います) 盛りだくさんのプログラムで少し時間が過ぎましたが、山口メンよりEMC報告をいただき新会長第1回目の点鐘で閉会しました。(岡田佑一郎)

## 交流事業主任だより2

2011-12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン



7月9日(土)に六甲部の第1回評議会が開催されました。8クラブが参加する訳ですが、決議を必要とする時は各クラブに4票があたえられ賛否を問うことになります。以前は、出席されたメン全員

に投票権があったのですが、

数年前に前記のように各クラブ平等にと、部則を変更したものです。しかしながら投票権がないから、と出席を見合わせたり、4名が揃わなかったり。議決提案についての賛否を問われても、同じクラブのメンが同じ意見になるとはかぎりません。評議会は部会のようなお祭り気分ではまずいのですが、より多くのメンバーの参加で各クラブ、ひいては部の活性化が図られるのではないのでしょうか。

16日(土)～17日(日)は西日本区第1回役員会がありました。討議された議案はそれほど多くはありませんでしたが、うち一つに六甲部長からの西日本区の7事業主任制を5事業にする提案でした。

事業主任の事業報告で私も交流事業主任として報告をさせていただき、西日本区/東日本区、DBC・IBC関係図のCDの各部長、各主査さんへの配付と理事通信での広報についてを報告いたしました。会議では本件の議題としての提案と区事務所への配付がされていないことについてのご指摘をいただきました。

23日(土)は呉クラブの20周年記念例会が広島でありましたが西宮クラブの会長・主査さんへの御苦労さん会があり残念ながらの欠席。しかし京都パレスさんのユースチームでのライブでいつもお見かけする人、お久しぶりの御顔と例会風景がよくわかり、ITの素晴らしさを再確認。

## 六甲部第1回評議会開催



浅野 純一メン

7月9日(土)に行われた、11 12年度の六甲部第1回評議会に参加しました。

森紘一(学園都市)部長の下での新しい体制のスタート

の会です。森部長の今年のスローガンは「伝統を守り、若返りをはかろう」です。この目標に向かって討議が行われました。一番の課題はクラブメンバーの獲得です。特に若いメンバーです。今回はEMC担当の大岩主任が京都からお越し頂き会員の拡大について基調スピーチがありました。スピーチでは、大切なのはワイズの例会に来てもらうことで、そのために魅力ある例会を企画するとのお話がありました。京都ではテレビでよく知られた方(国際政治が専門の同志社大学の村田教授)を招いての会を持ったことが紹介されました。大岩主任のスピーチに六甲部と京都部のクラブの方向性について、かなり異なっているとの感想もありましたが、ワイズの発展また会員の増大に最も大切なことは充実した例会を持つことに異論はありません。

西宮クラブからも濱崎会長が、また馬場メンが交流主査として方針を話されました。

私は広報主査を終えたわけですが、ホームページの充実の引き継ぎが出来ていません。今年度の広報主査にきちっと引き継ぐ責任は果たしていくつもりです。

最後に西宮クラブからは濱崎、馬場一郎、山本、山口政紀、廣瀬、足立、小野、堤、浅野の各メンが参加しました。

## 各地で部会始まる

浅岡徹夫理事期西日本区2011 - 2012年度がスタートし、最初の行事である第1回役員会も去る7月16日(土) - 17日(日)に開催され、無事終了いたしました。

猛暑の夏を過ぎますとワイズメンズクラブでは毎年恒例の秋のイベントラッシュを迎えます。手初めに各部のお祭りで、一番の活動発場の場、「部会シーズン」がスタートします。8月末から10月に至る長丁場は、各部においては絶好の活動発揮の場である一方、方や西日本区の役員さん、特に理事さんにとって地獄の毎日になる季節です。

部会はワイズの新しい仲間を増やし、ワイズ理解を深める絶好の機会です。皆様も六甲部会は当然ですが、近隣の部会にも是非出席しましょう。

## 各部会のスケジュール

8月28日(日)中部部会  
名鉄ニューグランドホテル(名古屋市)  
9月11日(日)京都部部会  
福知山市三段池公園体育館(福知山市)  
9月17日(土)中西部部会  
ホテルクライトン新大阪(吹田市)  
9月23日(金・祝)阪和部部会  
大阪南YMCA(大阪市)  
10月 1日(土)西中国部部会  
広島YMCA(広島市)  
10月 2日(日)九州部部会  
霧島ホテル(鹿児島市)  
**10月 8日(土)六甲部部会**  
**神戸YMCA(神戸市)**  
10月15日(土)瀬戸山陰部部会  
日本キリスト教団岡山教会(岡山市)  
10月16日(日)びわこ部部会  
クサツエストピアホテル(草津市)  
黒太字は近隣の部会、青太字はDBCクラブ所属の部会です。ご都合のよい部会に積極的に参加しましょう。(詳しくはワイズHPをご覧ください。)

# EMC通信 1



山口 政紀 EMC 委員長

去る7月9日(土)に六甲部評議会に続いて「六甲部 EMC シンポジウム」が開催されました。今期 EMC 主査の福田宏子ウイメン(宝塚クラブ)の司会で、西日本区 EMC 主任の大岩英メン(京都グローバル)のお話がありました。大岩主任は今までの主任に比べて随分若いワイズです。1969年生まれで、ワイズへの入会はぶ25才(1995年)の時、以来18人のスポンサーをされ現存は15人だそうです。凄いですね～

事業主任方針は『一人のへんしん、みんなでへんしん、ワイズがへんしん』です。詳しくは西日本区報などで知ることが出来ると思います。基調スピーチはご本人の実績から、『新メンバー獲得策としてこんな方法は如何?』として紹介いただいたのは、『ご自身のメンバーの誘い方』…先ず自分が輝くから13項目。

そして『オープン例会の開催』、メンバーひとり一人がゲス

トを誘って大勢のメンバーでの例会を企画し、ゲストの方への心配りは「メンバー全員で歓迎しているという態度で接する。(挨拶・握手)など。最後に『メンバーの意識のへんしん』として、何よりも「メンバー全員が会員増強をしようという強い思いを持つ!」ことを強調され、EMCの最終兵器は『携帯電話』など六甲部の増員を期待してエールを送ってくださいました。しっかりとした情熱をお持ちで、それを落着いて実践されてこられた様子などを語って下さり、魅力的で優秀なワイズだなどの印象を深くしました。

講演に応える様に各クラブ会長より今期のEMC強調の抱負が述べられ、森紘一六甲部長から檄が飛んでシンポジウムのお開きとなり、残念ながら六甲部の懇親二次会はありませんでした。

その大岩主任から「各クラブにおける会員年齢構成と平均年齢調査」の依頼がありました。7月第一例会で濱崎会長に森部長と福田主査からよろしくと調査表が渡され私に報告せよと指示がありました。2011年7月1日現在で西宮クラブは2006年7月1日と比べてクラブ員は21名から22名にわずかに増員、年齢は60.5才から59.4才に1.1才の若返りでした。

5年間の推移としてはそのままでは5才の成長や5～6人の増加が標準でしょうが、入会が9人ありましたが、逝去者が4人、そして4人の退会者がありました。

全員でワイズのメンバーを増強したいものです、そして参加度も……。よろしく願いいたします。

## Y's ニュース

濱崎 進一 会長

1. 西宮クラブ役員慰労会 好富にて 7月23日 18:00～21:00。堀川夫人を交えて前役員関係の方々の慰労会を17名のメンバーで行こなわれました。
2. 呉ワイズメンズクラブ創立20周年記念例会  
7月23日 スポンサークラブ 広島クラブ(西宮クラブとDBC) 記念例会 広島YMCA 親睦会 レストラン TOWANI にて行こなわれました。
3. アジア地域大会、8月4日(木)～8日(月)台湾宣儀
4. 六甲部西部4クラブ(神戸、神戸西、神戸ポート、神戸学園都市各クラブ)合同納涼例会、8月12日(金) 19:00～、会場:グリーンヒルホテル神戸、会費:3,0

00円

5. 第4回六甲部東部4クラブ(西宮、宝塚、さんだ、芦屋)合同納涼例会 8月19日(金) 18:30~、宝塚ホテル、会費:4000円、幹事:さんだクラブ(若林メン)

西宮クラブではこの合同例会を第一例会に兼ねますので西宮クラブの皆様は必ずご参加下さい。

6. 六甲部交流・チャリティ ローンボウル大会

場所:神戸市北区しあわせの村 ローンボウルズ場

日間:9月24日(土) 8:30~16:30の予定、

参加費用:選手1人当たり1000円

7. 第10回六甲部部会10月8日(土)

13:15~19:30(受付 13:00より)

場所:神戸YMCA、ANAクラウンプラザホテル

参加費:7,000円、参加申し込み締切:9月17日



西宮YMCA 三島浩司メン

今年の夏は、例年よりも早い梅雨明けとなりましたが、なかなか「真夏」らしい空を見ることが出来ないうえ、保育園の4、5歳児の子ども達も「梅雨明け」のすがすがしい空を求め、日程を昨年より一週間遅らせてキャンプに出かけました。けれども、昨年同様、六甲山上の雲の中でのキャンプとなってしまいました。YMCAでは夏のキャンプシーズンを迎え、多くの子ども達がキャンプに参加します。

また、家族やお友達と水辺遊びを楽しむ機会が多くなるこの時期は、多くの子ども達が「水」に命を奪われる事故が多発する時期でもあります。今夏もため池で遊んでいた子どもが亡くなったり、川遊びをしていた親子が亡くなったりと、多くの事故が起っています。このような悲しい事故が少しでも少なくなることを願って、YMCAでは毎年「ウォーターセーフティーハンドブック」を作成・配布し、水の安全の啓発に努めています。

西宮YMCAでは、2007年度よりカーニバルの収益金を活用して、西宮市内の小学5年生の子ども達にこの「ウォーターセーフティーハンドブック」を配布してきました。5年目を迎えた今年も、西宮市内約5,000名の5年生の子ども達にハンドブックを配布させていただきました。また、神戸YMCA全体では、幼稚園や保育園、水泳やサッカー、野外活動など全てのプログラムに参加している子ども達にもハンドブックを配布しています。

このハンドブックが一人でも多くの子ども達や保護者の方々の目に触れ、YMCAのキャンプに参加する子ども達は勿論、この夏に「水」を楽しむ子ども達が安全に過ごすため

の糧となることを心から祈っています。

ワイズメンの皆様も是非ご一読ください。



### 今後の予定

- 1) 125周年記念講演会・シンポジウム

日時:9月10日(土)13:30~17:00

場所:日本基督教団 神戸教会

(神戸市中央区花隈町)

テーマ:真の国際人とは

~いま、私たちに求められていること~

プログラム:

第1部 記念講演「私を生きる、共に生きる」

講師:湊 晶子氏

(前東京女子大学学長・ワールドビジョン国際理事)

第2部 シンポジウム「平和を実現するために」

シンポジスト:

湊 晶子氏

長尾ひろみ氏(広島女学院大学学長)

大江 浩氏(日本キリスト教海外医療協力会総主事)

参加費:無料

申込:FAX:078-241-3619 または

E-mail: [125event@kobeymca.org](mailto:125event@kobeymca.org)まで。

## 会計よりのお願い

会計 岩田 健司

足立 康幸

2011 - 2012年度も始まりました。西宮クラブ今期前期(7月~12月)分の会費を集めております。皆様速やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持ちくださっても結構ですし、下記の口座に振り込んでいただいても結構です。なお、振込み手数料はご負担下さい。よろしくお願いいたします。

振込み先口座:三井住友銀行夙川支店  
普通預金、口座番号:3230220  
口座名:西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

## 【今後の予定】

### ドライバーの予定:

9月(浅野、小野)、10月(馬場(貴)、石井)、

11月(足立、丸山)、12月(山本、小野)、

1月(濱崎、三島)、2月(廣瀬、藤原)

※ 60周年記念誌編集作業:第2・第4金曜中心

六甲部他クラブの第一例会予定(計145名)

- ・神戸クラブ(第2火曜日、神戸YMCAサイコー亭)21名
- ・神戸西クラブ(第3火曜日、同上)10名
- ・神戸ポートクラブ(第2木曜日、グリーンホテル神戸)19名
- ・宝塚クラブ(第2水曜日、宝塚ホテル)21名
- ・さんだクラブ(第2水曜日、三田YMCA)18名
- ・神戸学園都市クラブ(第3木曜日、西神戸YMCA)18名
- ・芦屋クラブ(第3水曜日、ホテル竹園芦屋)17名

### 8月の予定

3日(水)第二例会(兼役員会)西宮Y、19時~、

4日(木)~8日(月)台湾アジア地域大会、12日(金)

六甲部(西部)4クラブ合同納涼例会グリーンH神戸、

会費:3000円、18日(木)広島クラブ第一例会、19日

(金)六甲部(東部)4クラブ合同納涼例会、宝塚H、

18:00~、会費:4000円(兼第一例会)(幹事:

さんだクラブ)、20日(土)近江八幡クラブ第一例会、

28日(日)中部部会 名鉄ニューグランドホテル、

### 9月の予定

2日(水)第二例会(兼役員会)西宮Y 19時~、

10日(土)神戸YMCA125周年記念シンポジウム、

11日(日)京都部部会 福知山市三段池公園体育館

16日(金)第一例会(ドライバー:浅野、小野)19時~、

17日(土)中西部部会 ホテルクライトン新大阪、23日

(金・祝)阪和部部会 大阪南YMCA、24日(土)六甲

部チャリティーローンボール大会、30日(金)~2日(日)

じゃがいもファンド始まる。18時濱宅じゃがいも到着荷卸

し作業、

### 10以降の予定

10月1日(土)西中国部部会 広島YMCA、10月8

(土)六甲部部会、神戸YMCA、10月19日(水)神戸

YMCA 第25回チャリティゴルフ、オリムピックゴルフ倶楽部、

10月16日(日)西宮YMCA・保育園合同カーニバル

10月23日(日)ファミリープログラム

## 東日本震災被災地を支援しましょう!



### 編集後記

☆今月は盛り沢山になりました。以前の西宮には「ブリテン例会」があり、「印刷→「郵送」と、印刷代、用紙代、郵送料と費用負担があり、しかもA3折り返しのA4で4ページのコンパクト化が推奨されていました。

しかし、IT化の現代では、むしろ広報・交流の武器、またユビキタスの一部として、いつどんな所でも閲覧が可能になってきています。

これらの多くの情報は、ワイズ活動の「窓(ウインドウズ)」として大いに利用すべきではないかと考えました。取捨選択は読者自身にお任せします。「フレッシュマン登場」もその一つの試みです。そこで、今月の試行として、「A. 本来のワイズのブリテン部分」と「B. 読み物寄稿集コーナー部分」とに分離して二部構成にしております。最終ページに「理事通信」も添付しましたので、事実上は三部構成ということになります。ご意見をお聞かせ下さい。

★毎年のことですが、この時期は6月の西日本区大会、8月の国際大会、アジア地域大会と大きなイベントが多い割には、クラブ単位では、メンバー個人として休暇や帰省、旅行、法事といった予定が重なり、クラブ活動は若干緩めのような気がします。納涼例会などで、常設会場を離れる機会も多い。しかし、この時期は秋のイベントラッシュへの待機準備期間でもあると思われます。従って、個人的に

は、秋に備えて夏から準備しておくことが、1年間計画的に進める『コツ』ではないかと思っています。☆ひとたび個人の仕事や家庭生活に視界を転じてみると、同じような傾向で、8月を乗り切ることが年間を制するのではないかと感じています。(定年後では遅きに失しています) 8月は皆が休んでいる時期だが、本当は頑張る時期ではないだろうか。即ち「1年の計は元旦にあり」ではなく、「1年の計は夏にあり」ではないか。皆さまはいかがでしょう。

★西宮クラブから3人の先遣隊仲間が東北に支援に行きましたが、過酷な冬将軍に覆われる秋から冬にかけての支援は、8月のこの時期から全員で準備して行きたいものですね。

(ブリテン委員長 小野 勅紘)

## ぶりてん別冊〔寄稿集コーナー〕

125年を振り返って



(その14)

神戸YMCA 125周年記念事業実行委員長  
長井 慎吾メン



125周年に際し活動の  
原点を振り返るため、  
神戸YMCA 125年の

先達の偉業をレビューしています。今月は、3月号で掲載した長田ランチ開設に向けての取り組みの続きです。

戦後、ゴム工業の発展により多くの労働者が集まる長田地区では、50年代から60年代にかけて少年犯罪が多く、この課題解決のためYMCAの進出に期待が寄せられていました。神戸YMCA創立60周年を機に長田に新しいランチ設置を決め、記念事業募金の一部を建設費に当て「神戸YMCA後援会」の大いなる支援を受けます。

1962年に旧神戸大学工学部跡地の払い下げが決定したことで、理事会はこの地に「神戸YMCA西神戸青少年センター」と称して300坪、鉄筋3階の拠点造りを進めます。その目的は、青少年余暇活動のセンターにする。地域社会の家族ぐるみの社会教育の実践に奉仕する。西神戸地区の中小企業の青少年従業員の寄宿舍を設け、人づくりの宿泊訓練を生活経験を通じて行うでした。

1963年後援会長の神戸銀行頭取岡崎忠理事長の岡部、総主事の今井が法人募金について協議し、募金委員長に小野忠雄、青少年センター建築委員長に西尾浅助を任命し、具体的作業に取り掛かります。総費用6千万円、募金3千万円の一大事業でありました。1964年9月に関係者150名の出席で起工式が行われ、かくして1965年4月10日、多くの人々の期待と希望を集めた西神戸青少年センターは完成し献館式を迎えます。

1959年以来7年ごしの関係者の努力の結晶でありました。募金総額は、2千7百円、募金者は個人、団体243でありました。

中でも、商用で南米に出張中の長山次郎は、各地のワイズメンズクラブを訪問、募金を訴え、12万5千800円を送金してきました。

建物は、当初計画の3階建てから5階建てに変更されましたが、これは、地元の中堅産業である阪東調帯の寮とする話がもちあがり、地方から来た勤労青年たちがYMCA会員となり余暇活動の場とするためでした。阪東調帯(後のバンドー化学)は実質的にYMCAを支援した有力な団体でありました。

プログラムは、少年少女のために、幼児保育事業、学童保育事業、小中高生のためのグループ活動、体育活動、また青年成人のためには、グループ活動中心に展開されました。特に「中学卒業後就職生徒の社会人となるための講座」や、地域盆踊り大会等の企画があるなど、長田という地域の課題にふさわしいプログラムが次々生み出されました。

西神戸青少年センターの建設には、神戸YMCA後援会やワイズメンズクラブメンバーを主体とした多くの個人、団体の支援が寄せられたことは銘記すべきことであったと思います。

## 音を重ねる日々は心を重ねる日々に-47



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム LOVE

代表 ひがしの ようこさん

音を重ねる日々は心を重ねる日々に - 4

7

濱 浩一メン

楽団あぶあぶあでは秋の定期公演を予定

しております。2011年11月6日(日)うはらホールで開催します。詳細が決まり次第追ってお知らせいたします。楽団あぶあぶあ&LOVEをご支援下さい。

### あぶあぶあ&LOVE基金へのご支援のお願い

「あぶあぶあ&LOVE」の活動資金をご支援下さい。活動拡大のために、ご支援いただく金額は問いません。

郵便振替:神戸 00940 - 6 - 71757

口座名:あぶあぶあ&LOVE

## 西宮保育園だより

三島 浩 司メン(保育園園長)  
(西宮YMCA保育園だより7月号より)

### 7月の主題:たのしむ

毎日楽しそうに遊んでいる子ども達の姿を見てみると、「あれ、4月から新しく来た子は誰だっけ?」と思ってしまうことがあります。それだけ、皆が交じり合い、一緒になって遊べるようになってきているのだと思います。「少しくらい失敗しても・・・。」「余り上手くできなくても・・・。」受け入れてもらえることを体験しながら、仲間と活動することを楽しめるようになってきています。

7月には、プール(水)遊びが始まります。水に顔をつけること、泳ぐこと、船を作って浮かべることなどなど。プール(水)遊び一つとっても随分と多くの楽しみが待っています。トマトやきゅうり、ピーマンなどの野菜の栽培と収穫。

毎日の水やりなどといった事も大切な楽しみの一つです。また、セミなどの虫探しや虫捕りも子ども達は大好きです。一つ一つの遊びや体験を多くの仲間と共に楽しめることが出来るように応援して行きたいと思します。

保育園がお休みだった次の日、「新しい歯ブラシ買ってもらった!」「昨日、ガーデンズに行った!」子ども達の口から出てくるのは楽しかったことやうれしかったことばかり。

そして、楽しかったことやうれしかったことを口にして子ども達は元気一杯に活動しています。「昨日、お母さんに叱られた。」「昨日はお留守番だった。」などといった悲しかったことやつらかったことはほとんど耳にすることはありません。皆無といってもいいくらいです。けれども、様々な活動の中で元気のない子ども達の姿も時々見られます。口にはしないけれど、悲しいこと、つらいことがあった子ども達は、元気に活動できなくなるようです。楽しみや喜びは「生きる力」にとってかけがえのないもののように思います。

新しい歯ブラシは買ってないけれど、ガーデンズに行けなかったけれど、お母さんに叱られたけれど、お留守番だったけれど、それでも神様が傍にいてくださるのです。神様は、悲しさやつらさそのものを取り除いてくださるのではなく、共にいて、共に悲しんでくださるのです。うれしいときには共に喜んでくださり、悲しい時には共に悲しんでくださる。そんな神様がいてくださるということを心から信じ、喜び、感謝することが出来ると、私達には大きな生きる力が与えられるように思います。

7月聖句:主において 喜びなさい。

(フィリピの信徒への手紙3章1節)

# リーダー会だより

西宮・宝塚 YMCAR - ダー会 やまだ ゆうた 山田 悠太さん  
 ワイズメンズクラブの皆さん、いつも西宮・宝塚 YMCAR リーダー会をご支援いただきありがとうございます。

7月10日には、トムソーヤ(小学生)の7月例会が六甲にある柚谷で行われました。柚谷には飛び込みのできる池や魚が沢山いる沢がありました。子ども達は沢を登りながら魚を捕ったり、水掛けをして遊んだり大変楽しそうでした。

7月17日には私が所属するロビンフッド(小学生)の7月例会が林崎松江海岸で行われました。海で遊泳をしたりリレーをしたりして遊びました。久々の晴れだったこともあり、子ども達もグループのお友達やリーダーと思いきり体を動かしていました。

海や川などは自然であり、とても子ども達の興味を惹くものが多い一方、多くの危険が隠れています。この野外活動はまず安全を第一に考えなければなりません。そのため、下見で危険予測することを徹底して、子ども達がより安全にのびのびと活動できるように心がけ、夏にあるキャンプにも活かしていきたいと思えます。

リーダー会一同、子ども達の笑顔のために活動してまいりますので、今後ともご支援よろしくお願ひ致します。



## 活動の場 1

ブリテン委員長 小野 勅紘

今期の西宮クラブのブリテンは、濱崎会長の主題にもありますように、「皆で知恵を出し合って、行動していこう」を具現化していくために「全員で作るクラブ」を目指したい。

つきましては一部の原稿で作るブリテンではなく、全てのメンバーが登場するブリテンでありたいと願っております。そこで、今期から入会後まだ日の浅い、フレッシュメン・フレッシュウイメン(実年齢に関係なく)に順にご登場して頂きたい。テーマは特に決めません。皆様のワイズ生活での経験や驚き、不慣れな体験や馴染みのない言葉や習慣またご自身のお仕事やご家族、趣味の紹介でも結構です。リーダー経験者では、若き時代の思い出や情熱でも結

構です。紹介出来る写真を添付頂くと、より親しみが湧く。

私の経験では、趣味で「蘭の栽培」を手掛けておられた先輩が、会長となられてあらの毎月のブリテンは1年間、まさに「蘭」一色でした。そこで会長メッセージを「会長の花詩」と題して毎月掲載いたしました。それを他クラブのメンバー、神戸西クラブや神戸学園都市クラブのメンバーで、同じ趣味の方の目に留まり、カップルで食事会を持ち「蘭談義」にそれぞれ「花を咲かせた」という話をお聞きしました。

このように交流のきっかけは、ほんのちょっとしたことで芽生える証拠だと思います。皆様も是非多くの仲間を作って頂きたいと思えます。また逆に、ちょっとした言葉やボタンの掛け違いで対立が拡大し仲間が去っていくのも悲しい事実です。以前ブリテンを引き継いだ折に、前任の濱委員長から、「題材やテーマは何でも結構。小野さんの好きなようにやって下さい」とのアドバイスがありました。それは即ち「交流のきっかけの窓(ウィンドウズ)」を沢山開いておいて、どこからでもいらっしゃい！ということだと認識しています。

ブリテンは対立のためではなく、交流と広報のために大いにご利用頂きたいと願っております。

【ブリテン掲載順】

原稿ボリュームは1 / 2ページ前後

2011年	9月号(8月25日迄)	藤原百合子ウイメン
	10月号(9月24日迄)	堤 一幸メン
	11月号(10月25日迄)	馬場 貴英メン
	12月号(11月24日迄)	阪根 新メン
2012年	1月号(12月25日迄)	石井 恭子ウイメン
	2月号(1月25日迄)	万本 敬一メン
	3月号(2月23日迄)	山口 吉郎メン

4月からは OLD MEN にも登場頂きます。

2012年	4月号(3月25日迄)	山口 政紀メン
	5月号(4月24日迄)	濱崎 進一メン
	6月号(5月25日迄)	山本 常雄メン
	7月号(6月24日迄)	濱 浩一メン
2012年	8月号(7月25日迄)	廣瀬 一雄メン
	9月号(8月25日迄)	足立 康幸メン
	10月号(9月24日迄)	丸山 悦治メン
	11月号(10月25日迄)	岡田 佑一郎メン
	12月号(11月24日迄)	長井 慎吾メン
2013年	1月号(12月25日迄)	宮地 京子別メネツ
	2月号(1月25日迄)	清水 彬久メン
	3月号(2月23日迄)	小野 勅紘メン
	4月号(3月25日迄)	浅野 純一メン
	5月号(4月24日迄)	岩田 健司メン
	6月号(5月25日迄)	三島 浩一メン
	7月号(6月24日迄)	馬場 一郎メン

都合が悪くなった場合は、前もってお知らせ下さい。前後で交代して調整させていただきます。また、メネットの

皆様で是非にこの登場希望がありましたら、申し出戴けば順番に関係なく優先して採用させていただくことにいたします。



## 今年も纏に〜(ハーモニー)

(会長・主査慰労会)

山本 常雄メン



去る 7 月  
23 日 の  
土曜日、  
2010

11年度のクラ

ブ会長・六甲部主査・西日本区委員委の重責を担われた、馬場直前会長・浅野直前広報主査・廣瀬交流委員(現 交流主任)の3名の方々の慰労会(別称『纏の会』)が、堀川元メネットをゲストにお迎えし、三宮「好富」で開催されました。濱崎会長から3名の方々のこの1年間のお働きに対する感謝の言葉と乾杯で始まり、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら和気藹々と楽しいひと時を過ぎました。最後に、馬場直前会長からお礼の言葉と、東北支援のお話、濱崎新会長へのエールの言葉が述べられ、お開きとなりました。今年もまたミント2階にある若者の喫茶店の屋外で余韻を楽しんだのち、散会しました。出席者は17名。馬場(貴)メンはまたまた仕事の為に出席を果たせず・・・若かりし折の我が身を彷彿とさせる思いが過ぎりました。



会場の割烹「好富」前にて、向かって後列左より、山本、廣瀬、廣瀬メネット、堀川元メネット、堤、宮地メネット、馬場(一)直前会長・交流主査、濱崎会長、石井、小野の各メン・ウイメン、前列左より、浅野直前広報主査、山口(洋)メネット、山口(政)、山本(容)メネット、足立、丸山の各メン。右端は先に退席された万本メン。

## 水の流れる夢事に44

(俳句)

山野 直行ともくに(小野勲紘)

世間はすっかり夏休み。今月は趣きを少し変えて、夏休みらしい雰囲気を楽しみましょう。いつもの作句から離れて、「キャンプ特集」(主にキャンプ余島、キャンプ内海)とさせていただきます。皆様もご自身の若かりし頃(今でも気の若い方も)の記憶に思いを辿ってみて下さい。

### おも ・想ひ出が 育てる歴史 余島キャンプ

(長期少年キャンプ、短期中高キャンプには必ずキャンプが終わって開かれる「思い出会」といふ、言わば同窓会があった。貴重な体験と仲間を作った思い出は終生キャンパーの心に残っている。そういった思い出が次世代の人材を育てていくという歴史が余島キャンプの誇りであり、成果である。それは時代を超えて語り継いで継承していかなければならない。私が始めて担当したやんちゃ坊主のキャンパーM君は、その後YMCAのスタッフとして戻ってきて活躍されていることは、私の大きな誇りでもあります。)

### むかで たいわた ・じっと待つ キャンプの百足虫 体渡し

(余島のメインホールの東側の、今は「今井亭」になっている場所に、かつて「0キャビン」があった。そこは昼間でも日が当たらず鬱蒼として温度も冷ややか。ダドレーキャビン(スタッフの宿舎)に近いために比較的幼い子供達に当てられていた。0キャビンは気持ちの悪いキャビンで、いつもじりじりして、こども達の間では幽霊の噂があった。一方ここはムカデの巣窟でもあった。寝ていて百足が体を渡って横断していくと、決して体を動かすことが出来ないし、少しでも動くと噛まれるから、ひたすらじっと息を凝らして、ムカデ様にお引取り願がうのを待つのであった。小さな子供では固まってしまって動けなかったのだろう。)

### っ ・点かないとマジックファイア 突き回し

(キャンプの醍醐味の一つで、キャンパーが楽しみにしている行事はキャンプファイアである。このためにキャンパーが集まってくるにしても過言ではない。従って、一度キャンプリーダーを志した者は、キャンプファイアに命を掛けたものだ。取り分けファイアの花形ボンファイアの「マジックファイア」と呼ばれるストーリー性のあるサブライズは、リーダーのアイデアの発揮場所で、キャンパー達へのモチベーションを高める場でもあった。そんな大切な企画は絶対に失敗は許されない。しかし、実際は結構よく失敗したものである。その時は仕方なく、まさに海を背にした背水の陣で、インディアンの踊りなどで誤魔化して、ファイアを突き回して点火を促すのであるが、これがまた点火しないので、もう大変・・・。悲惨。夜の反省会でキャンプ長や先輩リーダー達から責められるのは辛い思い出であった。こういった中で、ただ一人このキャンプファイアの薪の管理に命を掛けておられた方が、先日鬼籍に入られた中村忠嘉先輩であった。)

### ・川の字の ブランケットパーティ 夜這ひ星

(キャンプ青野の代替キャンプとして開設されたのが、小豆島第2のキャンプ場「内海(うちのみ)キャンプ」であった。開設当時から山岸キャンプ長を中心に開墾を進めていき、シアトルYMCAとの交換学生の最初のキャンプを受け入れた。その後のシアトルとの交換学生の歴史が現在まで継続されている。

最初の交換キャンプで、私はマッシーこと佐々木リーダーと組んでカウンセラーを担当した。シアトルからのキャンパーは男女5人の10人で、神戸YMCAからは当時の少年部(現在のユース活動)のメンバー約5~60人が参加したと記憶している。その後シアトルのキャンパー達は余島に立ち寄って帰国の途

に着いた。

キャンパーを送り出した夜のオフの時間は、テントから持ち出してキャンプ場に広げて干してある毛布の上に、全員が寝転がって、満天の星を仰いで、フランクパーティーと洒落込んだ。恋物語を語るもよし、将来の夢を語るもよし、今の悩みを語るもよし、その内に心地よい風に誘われて寝息を立てている者もいて、至福の時であった。そんな時、スーッと流れる**流れ星(夜道い星ともいう)**に願いを込める時間もなく、あっという瞬間ではあったが、流れ星はシャワーのように次から次へと現れる。

「なんか、こんなキャンプっていいなあー！ってね。」

そんな内海キャンプも地盤の悪さや台風や水の便、マムシの多い地形などから放棄せざるを得なくなり、3～4年で閉鎖になり、次代を受けたのが「キャンプ沼島」であったが、その沼島キャンプも今はもうない。）

☆☆☆☆(星) \*\* (ファイア) !! "" ☀️ 🌟 ✨ (花火)

(川柳)

## ・鎮さんが オコゼの次に 怖い人

(当時、キャンプ長が古谷武雄さんで、総主事が今井鎮雄さんでした。総主事がキャンプ場に来られると聞けば、リーダーたちの目つきが変わっていた。余島キャンプのオーナー的な存在だったのでしょか。リーダーの動きがきびきびしてくるから不思議だ。そんな総主事よりも怖い存在がオコゼと呼ばれた男、即ち本間主事であった。本物のオコゼは南の浜によく出て、それを踏んだ日にや猛烈な痛みを伴い、死に至る場合もあるという。そんなオコゼの本間先生は横浜、東京で活躍されている。)

## ・ゴミ穴を 掘ったら出て来た 前の穴

(華やかなキャンプのプログラムの影で、過酷であったのは管理スタッフの労働であった。今では軽トラックが活躍しているが、当時は人力であった。浜からの食材、コーラなどの飲み物、毛布などの運搬も過酷であったが、最もきつかったのは炎天下の中の「**ゴミ穴掘り**」ではなからうか。散々穴を掘っているので大抵前に掘った穴が出てくるのである。汗ダクで掘ってみると前の穴であった時の落胆といったらもうあんた……。暑い、臭い、腰が痛い、腹が立つはで、それをまた埋め戻してまた違う穴を探すのである。もうこんな暮らさ、ヤダーってね。)

## ・ワイズメン 愛と奉仕の <sup>みちしるべ</sup>道標

(そんな余島も昨年60周年を迎えて記念礼拝が持たれた。余島をはじめとする神戸 YMCA のキャンプを支えてきたのは、リーダーでありキャンパーであり、スタッフである全ての人々が愛と奉仕の道標となって活躍してきたからだ。所期の志を忘れず、その道標を守り、語り継いでいきたいものです。ワイズメンも活動の根底にこの「愛」と「奉仕」の歩みを記す道標であり続けたい。)





## ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献

*Contribute to the Community  
through Active Services with Love*

理想を目指して変革と行動！

西日本区理事 浅岡 徹夫



### 東日本大震災復興にむけて

7月はワイズメンズクラブにとってキックオフの月であり、各々のクラブでしっかりとキックオフ例会が持たれたことと思います。西日本区としても7月16～17日に第1回の役員会が開催されました。役員会には西日本区九部の部長、七事業の事業主任、直前理事、次期理事、理事、書記、会計（以上21名は議決権を持つ）、財政監事、行政監事、各種の委員会委員長、YMCA区連絡主事、事務局長、事務所職員、事務局員、次期事務局その他オブザーバの皆さんを合わせると約40名の方が参加され熱い議論が交わされました。

この役員会が始まる前に、今期から設けられた「東日本大震災復興支援検討委員会」が開催されました。理事が委員長で、直前と次期の理事、地域奉仕・環境事業主任、書記、会計、事務局長の計7名で会議を行いました。今回の会議で概略以下の事が決められました。

1. これまでどのような支援が行われたかの情報を収集し整理する。（地域奉仕・環境事業主任から各部に調査をお願いする。これまでの献金額を含む）
2. 今後も支援活動内容や献金額についての報告を頂く。他の部やクラブで参考となる情報は積極的に取り上げ情報発信する。
3. 東日本区の東日本大震災対策本部および日本YMCA同盟と連携し、被災地の状況に対応した支援のニーズを西日本区内に情報発信する。
4. 支援の仕方としては、支援献金、物資の贈呈、東北産の物資販売（食料は慎重に）、被災地でのボランティア活動、支援キャンペーンのワッペン・帽子などを検討する。
5. 大震災で親を亡くした遺児支援のために、他のNPO（あしなが育英会等）との連携・支援
6. 献金については、YMCAと連携して行う募金活動等は従来通り各YMCAに献金し、後で金額を報告頂く。ワイズ独自の献金は西日本区に送金頂き、西日本区として、日本YMCA同盟を通じての指定献金などの方法で献金する。
7. 近い時期に委員の中から数名が被災地及び東日本対策本部や日本YMCA同盟を訪問し、情報交換と今後の連携方法などを話し合う機会を持ちたい。

この会議の後の西日本区役員会では、各事業主任からの活動報告と質疑応答の後、議案の審議が行われ、各委員会からの報告がありました。翌日は各部長からの活動報告と質疑応答があり、YMCAの報告や東日本大震災関連の討議等が行われ、2日間の役員会は閉会しました。この役員会の中で、ワイズメンズクラブの将来の課題も含めて、前向きで有意義な議論が行われ、会議参加者は充実感を持って会場を後にしました。西日本区に対して具体的な改善意見などがある場合は、会長一郎長を通じて役員会に上程していただきたい。今年度、どうぞよろしく願いいたします。